

# あなたの家は、 家族を守れますか。

問▼建築課(☎71)2241

市の調査では、南海トラフ地震が発生した場合、市内では建物倒壊による死者が最大約600人にのぼるとしています。市内住宅のうち約15%が耐震化されておらず、市では無料の耐震診断や耐震改修への補助を実施。建物の地震への備えについて考えてみませんか。



市の補助を利用し耐震改修工事をした野上邸(篠目町)のケース

■お話を聞ききました  
耐震診断を受けて

「市の広報紙で無料診断の制度について知り、ひとまず受けてみようと思って応募しました。」



野上さんご夫妻

地震はいつ来るかわからないですから、早めにと思っていますね。耐震が十分ではないという判定が出たので、工事に踏み切りました」

安心感が増しました

「現在、住居に引き続き居住しながら、壁の補強と屋根の葺き替えといった耐震工事を進めてもらっています。また、耐震改修と同時に、子世帯と暮らすためのリフォームも行いました。」

耐震補強の工程を間近で見ていると、家が確実に強くなっていることを実感します。耐震改修によって、今後安心して子世帯を迎え、ともに暮らしていくことができそうです」

■耐震改修工事の様子

筋交い(斜めの木)で補強しています



◀窓がある場所は筋交いの設置が難しいですが、合板や金物による認定構法により補強することも可能です



合板



市の補助

建物全体の改修が難しい、又は使う部屋に限られている場合、居間等一部屋のみの改修をお勧めします。その場合、耐震改修(簡易型)又は耐震シェルターとして改修した場合は耐震シェルター補助が受けられます。

■まずは無料耐震診断を  
昭和56年5月31日以前着工の住宅は古い耐震基準が適用されているため、耐震診断をお勧めします。

まずは無料耐震診断を受けてください。結果に基づいて各種補助があります。

■市の各種補助

耐震診断↓無料

耐震改修(一般型)↓最大120万円補助

耐震改修(簡易型)↓最大30万円補助

耐震シェルター↓最大30万円補助

※昭和56年5月31日以前着工の木造住宅に限ります。

※耐震改修工事費は平均300万円程度です。

※詳しくは本紙4月15日号10ページまたは市HPを確認するか建築課へ。